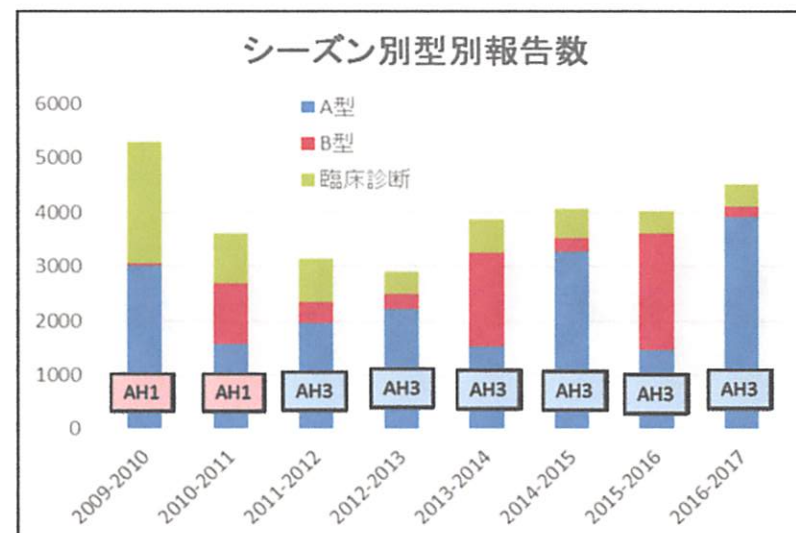
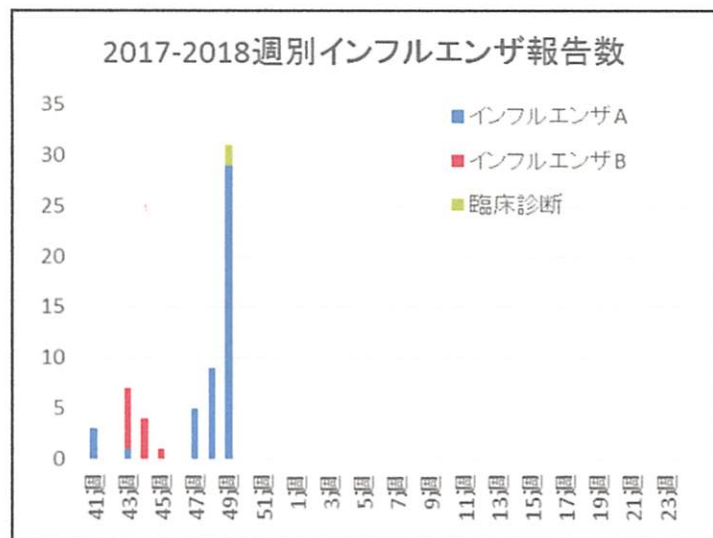


週間感染症情報

2017年48週 2017年11月27日より2017年12月3日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	4
百日咳	
溶連菌感染症	10
手足口病	21
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	42
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	4
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	11
RSウイルス感染症	3
マイコプラズマ感染症	2
インフルエンザ(臨床診断含む)	9
インフルエンザA	9
インフルエンザB	0
A+B	

インフルエンザの報告が増えてきました。47週以後は、すべてインフルエンザAです。48週は9例ですが、49週は12月7日までに32例の報告がありました。家族内感染などで臨床診断例もあります。市内保育園の0-1歳児の、インフルエンザAの流行は、クラス内感染から兄弟を介して家族内感染となり、他のクラスにも拡がり園全体の流行となっています。今後兄弟を介して、小中学校など地域での大きな流行になっていくかも知れません。クラスに1人の患者が出ると、2~3日後には周囲の数人が感染し、1週間もすればクラスの半数程度が感染して、2週間でクラスでの流行は終息します。今後、他の施設にも流行は拡大していくかもしれません。患者が1人出た時点で、まだ少ないと安心しないで、注意喚起や対策をとって下さい。体調不良の場合は、無理をしないで早めに休んでください。2週間あまりで冬休みが始まります。小児での大きな流行にならないように、感染予防に努めて下さい。今シーズンは何型が流行するか予想が付きませんが、AH1が流行すると、小児では大きな流行になるのではと心配しています。ノロウイルスによると思われる胃腸炎の報告は、例年に比べると少ないです。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)